## (2019年版 SSDSE 参考資料)

### e-Statから地域別データをダウンロードする手順

SSDSE(教育用標準データセット)は、e-Stat(政府統計の総合窓口)に収録されている都道府県・市区町村のすがた(社会・人口統計体系)からデータをダウンロードして作成しています。この資料は、SSDSEと同じ形式の地域別データを、e-Statから直接ダウンロードする手順についての解説です。SSDSEに別のデータ項目を付加する場合などの参考としてください。

## 〇 ダウンロードの流れ

e-Stat(政府統計の総合窓口)トップページ

Step 1 「地域」を選択 「都道府県・市区町村のすがた」のページへ

 $\downarrow$ 

都道府県・市区町村のすがた(社会・人口統計体系)トップページ

Step 2 データ種別の選択 都道府県データか市区町村データかを選択

 $\Downarrow$ 

データ表示のページ

Step 3A 地域選択(市区町村) 又は Step 3B 地域選択(都道府県)

Step 4 表示項目選択

Step 5 レイアウト設定(年次の指定)

 $\Downarrow$ 

表ダウンロードのページ(別画面で表示)

Step 6 ダウンロード設定

#### Step 1 地域統計を選択

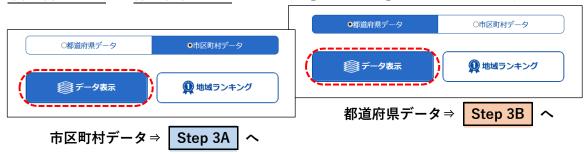


・e-Statのトップページ(https://www.e-stat.go.jp/)で [地域] をクリックします。

# Step 2 データ種別の選択



- ·都道府県・市区町村のすがた(社会・人口統計体系)のトップページが表示されます。
- ・市**区町村データ**又は**都道府県データ**を選択し、**[データ表示**]をクリックします。



# Step 3A 地域選択(市区町村)



- ·データ表示(市区町村データ)のページに移り、地域選択の画面が表示されます。
- ・SSDSEの市区町村データと同じく1741市区町村を選択する場合は、以下のように選択します。

表示データ:現在の市区町村(初期状態のまま)

地域区分: 都道府県=すべて(初期状態のまま)

絞り込み: 特別区、市(特別区部を除く)、町・村のみチェック **✓**する。

(初期状態では**区(特別区を除く)**にも **✓**があるので、これは外します。)

・右下の [**実行**] をクリックします。





・左に地域候補が1741地域表示されるので、**[全て選択**]をクリックします。





- ・右の選択中地域が1741地域となります。
- ・下部にある [確定] をクリックし、地域(市区町村)の選択は完了です。 **→ Step 4** へ

### Step 3B 地域選択(都道府県)



- ·データ表示(都道府県データ)のページに移り、地域選択の画面が表示されます。
- ・SSDSEの都道府県データと同じく47都道府県を選択する場合は、以下のように選択します。 地域区分は<u>都道府県</u>(初期状態のまま)とし、左の地域候補48地域を**[全て選択**]する。 48地域が右側に移ったら、一番上の<u>全国</u>だけ選択してから**[地域を削除]**をクリックする。





- ・右の選択中地域が47地域となります。
- ・下部にある [確定] をクリックし、地域(都道府県)の選択は完了です。 ⇒ Step 4 へ

## Step 4 表示項目選択



- ・地域選択が終わると、表示項目選択の画面になります。
- ・データ種別は、<u>基礎データ</u>(初期状態のまま)としておきますが、指標データをダウンロードしたい場合には、**指標データ**を選択します。
- ・分野を選択すると、自動的にその分野の項目候補が表示されます。
- ・複数の分野から項目を選択できますが、1回にダウンロードできる項目は25項目までです。
- ・左の項目候補からダウンロードしたい項目を選び、**[項目を選択**]をクリックして、右の選択中項目の欄に移します。
- ・選択した項目は、すべて同じ年次のデータがダウンロードされます。項目によりダウンロードしたい年次が異なる場合には、使用年次の同じ項目ごとに、分けてダウンロードします。





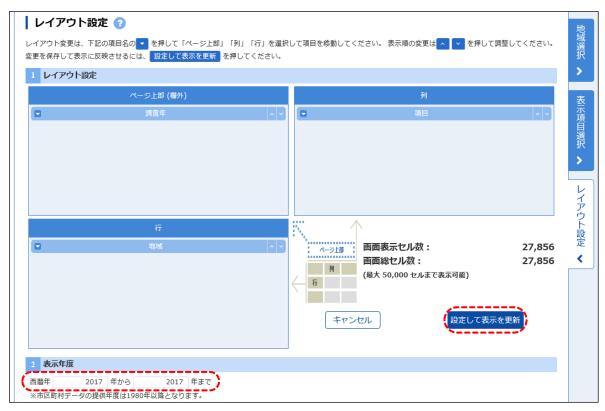
・ダウンロード1回分の項目を選択したら [確定] をクリックし、表示項目の選択は完了です。

# Step 5 レイアウト設定 (年次の指定)



- ・表示項目選択が終わると、**統計表表示**の画面になります。この状態では、<u>複数年のデータが抽出</u>されています。([**調査年**]で各年のデータを確認できます。データのない年もあります。)
- ・必要な年次のデータのみをダウンロードするように、この段階で、年次を指定します。
- · 「**レイアウト設定**]をクリックします。





・<u>レイアウト設定</u>画面が表示されるので、<u>表示年度</u>に抽出したい西暦年を入力します。 (複数年のデータを抽出するように指定することも可能です。)

## A SSDSE-2019Aのように単一の年次を抽出する場合:

[**設定して表示を更新**] をクリックし、レイアウト設定は完了です。 ⇒ **Step 6** 

B SSDSE-2019Bのように複数年を抽出する場合:



- ·表示年度に開始年と終了年をそれぞれ入力します。
- ・SSDSE-2019Bと同じ形式の表にするのであれば、<u>レイアウト設定</u>の「ページ上部(欄外)」に ある**調査年**を、ドラッグ&ドロップして、「**行**」の**地域**の下に移動させます。
- ・ [**設定して表示を更新**] をクリックし、レイアウト設定は完了です。 ⇒ **Step 6** へ

# Step 6 ダウンロード設定



・再び統計表表示になるので [ダウンロード] をクリックします。



- ・別ウィンドウで**表ダウンロード**のページが表示されます。
- ・例えばエクセルデータをダウンロードする場合は、以下のように指定します。

ダウンロード範囲:**全データ**(初期状態のまま)

ファイル形式: **XLSX形式** 

コードの出力: 出力する(初期状態のまま)

3つのチェックボックスは **ノ**なし (注釈を表示する も **ノ**を外す。)

(桁区切りは、どちらでも可)

· 「**ダウンロード**〕をクリックします。



・確認画面が表示されるので、再び[**ダウンロード**]をクリックし、ダウンロードを開始します。